

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 027	提案機関名 畜産技術センター
要望問題名 製造粕類を利用した飼料調製作業の労力軽減	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 県内の大部分の肥育農家で定着している製造粕類を利用した肥育手法は、飼料経費の低コスト化に寄与する一方、水分含量の高い飼料原料を利用するために労力がかかり、通常の肥育と比較して作業性がやや劣る。また、近年になって飼料攪拌機の製造メーカーが撤退したため、現在稼動している攪拌機を長くは使用できなくなった。 そこで、攪拌機械を利用しないで労力をかけずに飼料を攪拌・調製する手法について研究・提案していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	攪拌機械を利用しないで労力をかけずに飼料を攪拌・調製する手法については、古くからの手法であるダンブなどへの層状積載による給与やバケットローダー、バックホーなどを利用した攪拌手法や、粕類をフレコンパックに詰め込む際に混合する方法なども考えられます。いずれにせよ、情報が少ないためすぐに試験を開始することが困難であるため、今後情報収集に努めたいと思います。 また、ご指摘の「近年になって飼料攪拌機の製造メーカーが撤退したため、現在稼動している攪拌機を長くは使用できなくなった」という点ですが、円形の攪拌機については、畜産用飼料攪拌機を販売している業者がほかにもありますので新規導入などをご検討ください。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			